

この公報は、候補者からの原稿そのままを印刷したもので、掲載の順序は、くじにより定められたものです。

1 小規模農林水産業の振興

日本円の価値を支えているのは、日本国内の供給能力です。農業で言えば、田畑や水路、溜池などの農業インフラや働く農家の皆さんです。これを発展、維持してきたのが、村であり、そこに住む人々の営みです。しかしながら、現在政府の推進する政策は、企業体による大規模農業やスマート農業に注力し、地方の人口が減ってしまった原因には目を向けず、さらに人口を減らしてしまう様な、経済性だけを重視したものであります。小規模でも村に人が住み営む、持続可能性に溢れた農林水産業を積極財政により実現することを強く訴えて参ります。

2 全ての産業の国産回帰

対外純資産は世界一の日本。裏を返せば、日本国内のあらゆる産業の生産基盤が海外に移転していきましました。更に基盤だけでなく人材、技術に関しても海外への流出が加速しています。これは、プライマリーバランスや財政健全化に代表される、コストカットの考え方に起因します。これからは、積極財政による、国内への投資推進による生産基盤、供給基盤の強化を図ることで、働く人も会社も生活する人も、皆が潤う経済の好循環を目指します。

3 エネルギー政策の見直し

現在の再生可能エネルギーの導入は数多くの問題を孕んでいます。例えば、風力発電においては、山体、特に山頂を切り開いてしまう事により、山の豊かな生態系は失われ、水を涵養する力も失ってしまいます。そして、風車のプロペラは回転することで、低周波を発生させ、自然界だけでなく、人間の生活にも多大な影響を及ぼしてしまいます。しかしながら、現状、これらの事実が私たちに影響があると証明できる基準がきちんと整備されておりません。私は事実を即して、問題をきちんと認識し、対処できる基準づくりに取り組んで参ります。

4 ご皇統の男系維持

石破茂首相は、2023年に、女系の天皇の可能性を排除しないと明言されました。現在も、明言は避けられています。皇室の行く末を決める皇室会議には、内閣総理大臣の出席が認められており、このまま皇室典範の改正に関する議論が取りまとめられれば、日本の男系でのご皇統が危険に晒されることになりかねません。これまで、神武天皇が、熊野から橿原に至り即位されて以来、一度も、女系の天皇様が認められたことはなく、この事実こそが、ご皇統そのものであるといっても過言ではございません。また、皇子内親王殿下の御即位を可能とする女性天皇の容認を含めた議論を望みます。

日本と自然を取り戻す 四つの 重点政策

自然の声を国会に 鼎立の党

もっと詳しい政策は
動画で紹介



高橋ひであき

立憲民主党

心の中を届けます。私が生まれた和歌山だから。



しんこ 祐子

《プロフィール》
しんこ 祐子 (新古 ゆうこ)
1971年生まれ

《略歴》

- ・ 県立和歌山西高等学校 卒
- ・ 大手前 大学 文学部 史学科 卒
- ・ 佛教大学 文学部 教育学科 (通信) 卒
- ・ 前 和歌山市議会議員 (1期)

《資格》

- ・ 教員免許 (小学校一種)
- ・ 学芸員 図書館司書
- ・ 地域食プロデュース協会マスター
- ・ 弓道初段 乗馬5級

《趣味》

- ・ 旅行 食べ歩き
- ・ マーケティング研究 お菓子づくり

《好きな言葉》

- ・ 温故知新

国政へ働きかける 5つの提言

- 1 特産品と中小企業を守る。若者の起業支援拡充。
- 2 農業従事者への支援。持続可能な観光業の推進。
- 3 教育費負担の軽減。地域の特色を活かした教育。
- 4 医療分野を含めた福祉サービスの拡充。
- 5 いつ、災害が起きても、安全安心な和歌山を。

業界多岐にわたるプランナーとして実績のある、しんこ祐子候補を応援しています！



立憲民主党
代表 野田 佳彦

自民党政治を変えてくらし・平和に希望を

「裏金」ノーの声を 和歌山2区から



日本共産党 くすもと文郎

- 1 くらし応援、農林水産業の再生で経済をたてなおす
 - 物価高から家計を守る一番の対策―消費税ゼロへ、ただちに5%に
 - 中小企業支援とセットで最低賃金1500円に。ケアワーカー、非正規雇用の待遇改善
 - コメをはじめ農産物の価格保障、農家の所得補償を充実。
 - 食料自給率を早急に50%へ。
- 2 年金・介護・医療・子育て
ジェンター平等へ
個人の尊厳を大切に
 - 物価高に見合う年金ひきあげ
 - 介護保険への国の支出を増やし、保険料引き下げ、利用しやすい介護サービス
 - 高すぎる国保税(料)引き下げ
 - 大学や専門学校の学費は半額に、さらに無償化へ
 - 選択的夫婦別姓、同性婚の実現
- 3 「戦争国家」づくりを止め
外交の力で平和をつくる
 - 軍事費倍増、敵基地攻撃能力の保有、アメリカ軍との一体化：戦争する国づくりはストップ
 - ASEANとも協力、憲法9条を生かした外交の力で平和な東アジアを
- 4 気候危機打開、
原発はゼロへ
 - 省エネ、再エネでCO2を60%削減(2030年)

比例代表は **日本共産党** とお書きください

プロフィール：1954年生まれ。70歳。和歌山大学卒。御坊市で教員を5年。御坊市議9期、和歌山県議1期。

くすもと文郎さんへ

令和6年10月27日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
和歌山県第2区

選挙公報

和歌山県選挙管理委員会

和歌山で育ったからこそ届けたい声がある

自由民主党公認 和歌山二区衆議院議員候補



にかい伸康

のぶやす にかい伸康 プロフィール

昭和53(1978)年
1月4日生まれ
O型・やぎ座
父・俊博・母・怜子の三男
【略歴】ANA勤務[13年]、
二階俊博衆議院議員公
設第一秘書[10年]
【学歴】御坊小学校・中学
校卒、和歌山県立日高
高等学校卒、バスケットボ
ール部主将(在籍時インター
ハイ、全国選抜大会出場)、
青山学院大法学部卒
【趣味】サイクリング(ロード
バイク)、料理

この国のかたちを変えたい！重点政策と訴え

「地方分散型社会」のビジョンを示し地方経済を守る

「地方の声」が国政に反映される
選挙制度の在り方を提言

食糧安全保障・食糧教育の強化と二次産業を守る

「半島強靱化」を明文化し国土強靱化予算を守る

祝日法を改正し新たな観光需要を創出

憲法改正議論を推進し自衛隊の明記を急ぐ

老後の安心と子どもたちの希望をかたちに

障がい者の皆さんを

社会全体でサポート出来る取り組み推進

和歌山を世界に発信し地域経済の底上げを図る

全ては故郷のために



公式サイト
SNSで
活動発信中!

和歌山から日本を再起動!!

和歌山をはじめ日本全体の人口減少、特に地方における減少が深刻で、消滅可能性自治体が指摘されるほどです。人口減少は社会の活力を失わせ、経済成長の力を奪うだけでなく、安定した社会保障の提供や安全保障にも支障をきたします。人口減少は日本が直面する最大の危機であると言えます。児童手当の拡充や大学までの授業料無償化等、抜本的で大胆な少子化対策を進めるとともに、特に急激な人口減少に直面する和歌山のために、以下の政策を推進します。



衆議院議員選挙 和歌山県第二選挙区候補

せいじろひろ成

ひろしげ
(61歳)

質の高い雇用の創造

① 製造業の国内回帰の推進
行き過ぎた円高時代に、日本の優秀な製造業の多くが海外に拠点を移してしまいました。このことが、若者の質の高い雇用を喪失させた大きな原因です。円安状態となり、アジア諸国との賃金差が縮まった今、日本の製造業を国内回帰させるチャンスです。具体的には工場を国内移動させるための費用を、和歌山のような地方に立地することを条件に国が補助します。また、有田市で次世代航空燃料プラントの誘致に成功したように、電池、水素、半導体等次世代型の産業を和歌山に誘致します。

② 農林水産業の高付加価値化と就労支援の充実
付加価値の高い農産物、水産物の開発と輸出を支援します。林業のCO2削減への貢献を評価し、価格対策などで国の直接的支援を充実させます。

③ 観光産業
和歌山には素晴らしい景色や美味しい食べ物、奥深い歴史など、素晴らしい観光資源が国内トップレベルで存在しますが、残念ながら十分に磨きがかかっておらず、インバウンドの観光客がお金を落とす仕組みはまだまだ未成熟です。観光産業を高付加価値化し、観光面でも質の高い雇用を産み出していきます。

教育

質の高い雇用を実現することは、質の高い教育が重要となります。AIの時代にはホワイトカラー事務職の仕事は減少に向かうと想定されます。AIや高度な次世代型製造業での活躍を目指す若者の期待に応えられる教育環境を整備します。また多様な価値観を反映した教育体制に転換していきます。「職人」になりたい、「料理人を目指したい」、「カリスマ観光ガイド」になりたい、といった若者の多様な希望に対応できる多様な教育体制を整えます。

安心・安全の医療体制

増加する高齢者の安心確保や、和歌山への移住・Uターンを推進するには、医療面での安心が何よりも重要です。医師数の増加に政府を挙げて取り組んできました。ドクターヘリの導入にも努めてきました。結果、和歌山県全体としては人口当たり医師数が全国平均を上回るようになっていきました。しかし依然として医師偏在は解消せず、特に和歌山二区エリアでは、脳梗塞や心筋梗塞といった救急対応や子育て世帯に不可欠な出産分娩、子供の急病への対応が十分ではありません。今後は数の確保だけでなく、医師の配置にも国が積極的に関与して、和歌山のような地方でも安心して暮らせる環境を整えます。

命を守る防災体制

能登地震では家屋倒壊で多数の尊い人命が失われました。南海トラフ巨大地震に備えて、津波対策はもちろんのこと、住宅の耐震強化が喫緊の課題です。住宅耐震強化に対する国の支援を抜本的に強化します。その際に筋交い等により紀州材のような国産材を活用すれば、林業の振興にもつながります。高速度道路は「命の道」です。能登地震では半島を周回している一般国道のみであったため、救援が手回し取り戻り復興にも時間がかかっています。東日本大震災の際には東北自動車道が活用できたことが救援の大きな支えとなりました。あとなずかな区間を残すのみとなった「紀伊半島一周高速度道路」の完成に向け、全力投球します。

26年の議員経験を和歌山の発展のために

私は和歌山県民の皆様に支えられて26年間の政治経験を積ませていただきました。後半の11年間は官房副長官、経産大臣、参院幹事長として、特に高度で濃密な体験もしてきました。この政治経験を和歌山の発展のために、日本のために役立てて、これまで私を国政に送り出してきた、いただいた和歌山のために恩返しをしたいと決意しています。

せじろひろ成プロフィール	1998年 参議院和歌山県選挙区補欠選挙に当選 2001年 第19回参議院議員通常選挙に再選(2期) 2003年 経産大臣政務官 2003年 参議院総務委員長 2006年 内閣総理大臣補佐官(第1次安倍内閣)	2007年 第21回参議院議員通常選挙に再選(3期) 参議院議院運営委員会筆頭理事 2012年 参議院自由民主党政策調査会長・内閣官房副長官 2013年 第23回参議院議員通常選挙に再選(4期) 2016年 経済産業大臣、産業競争力担当、ロシア経済分野協力担当、	原子力経済被害担当、内閣府特命担当大臣(原子力損害賠償・廃炉等支援機構) 2018年 国際博覧会担当大臣を兼任 2019年 第25回参議院議員通常選挙に再選(現在5期) 参議院自由民主党幹事長(2019年~2023年)
--------------	--	---	--

投票日 10月27日(日)

期日前投票は10月26日(土)まで

和歌山県選挙管理委員会

※選挙公報の点字版、音声版及び拡大文字版については、市町村の選挙管理委員会にて配布しています。

※衆議院議員総選挙に関する情報は、県選挙管理委員会HPをご覧ください。→

和歌山県選挙管理委員会

検索